

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		奨学資金貸付事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	中島正剛
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	学校教育課	担当者名	西村 充保子
	基本事業	57	子育ての経済的負担の軽減			所属班	総務施設班	(内線)	2223
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市奨学資金貸付条例		
	1	10	1	2	10560		成果優先度評価結果	10	
							コスト削減優先度評価結果	6	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H8 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	向上心に富み有能な素質を有する生徒、学生でかつ経済的理由により修学が困難な者に対し、年1回の募集(3月初旬から概ね4月末日)を行い、選考委員会開催による奨学生決定し、奨学金の貸付、償還及び滞納整理を行う事務事業である。平成8年4月1日。条例によると、「向学心に富み有能な素質を有する生徒、学生でかつ経済的理由により修学が困難な者に対して、奨学資金を貸付け、もって有用な人材を育成することを目的とする。」ために開始された。利用者数がわずかに増加している。合併に伴い貸付金額も若干増額された。
【業務の流れ】	①3月初旬から概ね4月末日に申請受付(HPIにも掲載)→②5月の中旬に選考委員会開催し可否を決定→③選考委員の承認事項を基に5月下旬に教育員会議に諮って決定→④決定通知発行→⑤貸付、償還→⑥滞納整理
【主な予算費目】	貸付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
40名に対し、11,668,000円貸付を行なった。	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
⇒ア 貸付件数 件	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 保護者が市内在住の高校・大学等に在学の者。	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
	⇒ア 申請者人数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 就学できるようにする。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
	⇒ア 貸付人数 人
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	件	28	39	42	40	42	42	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人	28	40	42	40	43	43	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	人	28	39	42	40	42	42	
	イ								
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	4,723	6,012	5,930	7,305	6,000	6,000	
	繰入金	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,516	5,081	5,192	4,363	5,200	5,200	
	(A) 事業費計	千円	8,239	11,093	11,122	11,668	11,200	11,200	0
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	550	550	600	600	600	600	
	(B)人件費計	千円	2,184	2,200	2,388	2,388	2,388	2,388	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	10,423	13,293	13,510	14,056	13,588	13,588	0	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	奨学資金貸付事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	貧困状況を査定しての貸付である <input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷	
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷ 他に県なども同様の奨学金制度があり、また、民間も奨学金貸付制度がある。全国の市町村も例外なく奨学金貸付制度やっており統廃合は出来ない。	
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 事業の目的の就学困難者の支援から削減はできない	
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 最小の職員で実施しているため削減余地はない。	
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 一般公募・基準及び選考委員による選考により公平性が保たれている。	
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷	

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

申請者に対し、選考委員による選考により公平に貸付ができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

--	--